

岐阜県図書館協会

No. 39

平成23年3月

会報

事務局

〒500-8368

岐阜市宇佐4-2-1

岐阜県図書館内

電話(058)275-5111

平成22年度図書館活動研究大会報告

「図書館利用の広がりをめざして」をテーマに、今年度の図書館活動研究大会を、平成23年2月1日岐阜県図書館において開催しました。以下その内容を報告します。

講演「図書館の利用を広げるービジネス支援、行政支援を通して」(要旨)

千葉経済大学短期大学部・准教授 齊藤誠一

図書館における機能はインターネットの出現で、資料提供(図書)から情報提供(図書+デジタル情報)へと変化し、今後は人的支援の提供(図書+デジタル情報+人的支援)が重要となる。

利用者の現状から図書館サービスを考えると、地域活性化のための支援、行政支援、ビジネス支援等、図書館員のサポート力が求められている。地域のさまざまな機関と連携し、人的支援を積極的に行うために、地域情報の収集・保存とその電子化・情報発信、地域の子どもたちとの関わりを強化することが大切である。図書館は、市民のニーズの把握が必要であり、元気な図書館員が市民を元気にする。

図書館が行政職員に活用されることは、間接的ではあるが、市民生活の向上につながり町づくりのための重要な情報基盤施設となり得る。行政内部へのサービス展開を考えることが重要である。

また、ビジネス支援も情報収集・提供、関係機関との連携、人的支援等、ライブラリアンとしての基本的な知識・技術の習得が必要である。

※講演に引き続き、齊藤氏による「レファレンス・スキル向上」のための講座を開催しました。



講座「図書館の利用を広げるレファレンスサービス」

レファレンス・デスクから図書館サービスの質を考える

図書館は、知識と技術と経験をもった専門の職員がいて、的確なサポートをすることが重要である。ライブラリアンには、ホスピタリティー+情熱、情報への信頼性を確保する技術、情報を評価・組織化・発信する技術、情報に対する付加価値の提供(人脈の把握と紹

介)、レファレンス・インタビューの技術が必要である。

演習：レファレンス・インタビューの技術

参加者はペアになり、話す立場・聴く立場に分かれて3つのインタビュー方法を体験した。立ち位置や目線、会話の速度、余裕の確保、冷静になるテクニック等、様々な聴く技術を学んだ。

最後に、「レファレンスは、図書館員の技量が問われるサービスであるが、遣り甲斐もある。多くの経験（実践）を積み、コミュニケーション能力と聴く技術を身につけて欲しい。」

＜参加者の感想＞

- ・「地域活性化の視点」がなければ、ビジネス支援を行う必要性はないと言われたことばが現状を見直す道しるべになった。
- ・経験をもとにしたお話で、分かりやすかった。これからは「ない」「わからない」を言わずに対応したい。

と締めくくり、講演・講座を終了した。

(相互協力部会)

岐阜県公共図書館協議会活動報告

研修事業として、館長研修会と職員研究集会を実施した。館長研修会では、危機管理と障がい者サービスをテーマとし、吉川武彦氏（中部学院大学教授）と常世田良氏（日本図書館協会常務理事）を講師に迎えてご講義いただいた。会場の飛騨市図書館は、昨年度新館開館し、県内の公共図書館で唯一ＩＣタグを全面導入しているため、同日の午前は県主催の研修会として概要説明・見学会が開催された。職員研究集会は、「公共図書館における健康・医療情報サービス」をテーマに瑞浪市総合文化センターを会場に開催した。特定非営利活動法人日本医学図書館協会の方々から「見て聞いて、はじめの一步」「少ない予算を効果的に活かす選書とは?」「これだけ知ればこわくない。医療関連レファレンス」と題してそれぞれご講義いただいた。

また、各地区ごとで研修事業を実施したほか、全県的な利用促進を図るために、公共図書館全体をPRするポスターやリーフレットを作成した。

●県内公共図書館の動向

岐阜市、中津川市が新館建設を予定しているが、岐阜市については設計者を公開プレゼンテーションにより決定した。また、中津川市では公開懇談会が開催されたり、新図書館建設についてのアンケートが実施されるなど、市民の間で新図書館について議論された。

各務原市では「本の街づくり」を大々的に打ち出し、さまざまなイベントを実施するこ

とを計画している。

また、昨年度、県が「子供の読書活動推進計画」第二次計画を策定したが、市町村でも郡上市、大垣市をはじめ策定が進められ、各市町村での子どもの読書活動が推進されている。

なお、公共図書館とは直接関係ないが、開発者の一人が中津川市に在住している図書館蔵書検索サイト「カーリル」が、ライブラリーオブザイヤーを受賞した。

●岐阜県図書館について

昨年度策定した改革方針、改革アクションプランに基づき、県全体の図書館サービスの向上を目指した。

(岐阜県公共図書館協議会事務局)

岐阜県大学図書館協議会活動報告

平成22年度、岐阜県大学図書館協議会として、次の活動を行った。

- 運営委員会（7月14日〈水〉岐阜大学）
- 総会（7月28日〈水〉岐阜女子大学）
- 研修会（7月28日〈水〉岐阜女子大学）

22年度の総会は、当番大学の岐阜女子大学を会場とし、会務報告の後、以下の項目について、協議した。

- (1) 中京短期大学の中京学院大学への統合について
- (2) 平成21年度決算について
- (3) 平成22年度予算（案）について
- (4) 岐阜県図書館・岐阜大学図書館研修会の後援について

また、岐阜県図書館の物流システムを利用した図書の相互貸借についてのより有効かつ効率的な方法について各大学図書館の意見交換を行ったほか、岐阜県大学図書館協議会が実施している研修内容、特に隔年で実施している他地区図書館見学研修の内容について報告があった。また、各大学図書館で設置が随時進められている「ラーニング・コモンズ」の実態等について情報交換を行った。

総会に引き続き、研修会を開催した。研修会は、岐阜女子大学の後藤忠彦学長により「アーカイブの現状と課題」という演題で講演会を開催した。図書館が保有する各種資料については、今後、電子化が進んでいくものと考えられ、非常に興味深い内容の講演であった。各種資料の電子化については、国立国会図書館が既に率先して取り組んでおり、今後デジ

タル・アーキビストの育成や、国のデジタル・アーカイブとして、博物館、美術館、文書館等との連携を進めていくことの必要性、またそれに関するデータの標準化等の課題が考えられることを確認した。研修会終了後には、質疑応答や関連する事項について各種意見交換を行った。

こうした現状を踏まえて、今後の図書館のあり方は、これまでとは大いに変化していくことが考えられる。図書館員が、いかにそうした変化に順応していき、新たなサービスを提供していくことができるかを考えることが我々に課せられた課題であることを改めて痛感した次第である。

(岐阜県大学図書館図書館協議会)

岐阜アソシア（視覚障害者生活情報センターぎふ）

会員の皆様お元気でお過ごしでしょうか。電子書籍の配信サービスが本格化してきました。凸版も利用端末制約なしの電子書籍販売を立ち上げました。電子書籍が国会図書館に納本され、利用者がオンラインで全国どこからでも読めるようになりますと、図書館はどんな役割を担うべきかを考える日々です。研修会で取り上げていただきたいものです。

さて、当センターでは、視覚障害者を取り巻く情報機器環境の変化に対応すべき情報提供が情報センターの役割として求められています。設立以来、視覚障害者の地域の情報拠点・学習のための拠点としての役割を果たしており、今後その役割はますます期待されると言っても過言ではありません。本年度も情報通信技術やネットワーク環境の積極的な活用により、利用者の課題解決型の図書館を目指します。

また、生活情報提供施設として視覚障害者の災害時における支援は、情報機器を使っただけの迅速な対応と、実際に支援をしていただける地域の方々とのコーディネート役を担わなくてはなりません。そこで本年も防災運動会を開催し、地域における要援護者救済啓発普及に努めます。視覚障害者の結婚研修会を本年度も開催して全国から参加者を募り、研修会が円滑に進むよう運営します。

新企画として4月2日(土)と3日(日)に「ぎふ 触って味わう文化展」をじゅうろくプラザにて開催します。「五感で感じる」ことを全面に押し出し、触ることにより「作り手の文化」と「触り手の文化」の融合を試みます。これが契機となり、地域文化の共有、地域意識の向上に繋がればと願っています。会員の皆様の来場を心からお待ち申し上げます。

開催日時：4月2日(土)・3日(日) AM10:00～PM4:30

会場：JR岐阜駅前 じゅうろくプラザ

展示品：「人形に息を吹き込む真桑人形浄瑠璃」、「円空仏の出会い、命が宿るまで」、「尾関提灯一和の灯りに触れる」、「郡上渡辺染物店一藍を染めて藍を聞く」、美濃加茂市民ミュージアム、岐阜県立森林文化アカデミー他

(岐阜アソシア館長 高橋 秀夫)

岐阜県学校図書館協議会の研修と活動

岐阜県学校図書館協議会では、下記のように学校図書館の充実発展を図るための研究会や研修会と、児童生徒の読書の振興を図るための各種コンクールを行っている。

☆研究会、研修会

(1) 第1回研究会及び代表者会（5月25日岐阜県図書館）

活動計画、予算、研究大会の計画などの協議や連絡をすると共に、県教育委員会学校支援課課長補佐 小川和彦先生より「学校図書館教育の充実に向けて」という題で講話をいただいた。県下各地区から理事や代表者が集い、子どもの読書や図書館教育の推進について共通理解を図ることができた。

(2) 第37回全国学校図書館研究大会（静岡大会参加）

（8月4日～6日 静岡県コンベンションアーツセンター）

全体会・分科会に参加し、全国における利用指導・読書指導及び実践例に学んだ。「読書ガイドブック」が作成され、県下すべての小学1年生に配るなど、大きな取り組みに学ぶところが多かった。他県の先生方との交流もあり、意義深い大会であった。

(3) 夏季ゼミナール（8月17日 岐阜経済大学）

約45名の参加者があった。岐阜県美術館の安藤恭子先生に「読書と造形～読書感想画へのいざない～」という題で講演していただいた。発達段階における絵の特徴、夢や願いを入れた作品作りの大切さ、そのために教師がどんな支援をすればいいのかを中心にお話いただいた。様々な表現技法の紹介・実演などもあり、読書感想画の取り組み方について、具体的なお話が聞けた。

(4) 第2回研究会及び代表者会（2月22日 岐阜県図書館）

研究会や各種コンクールの報告を行った。また、岐阜市教育委員会の村田伊津子先生に「図書館の利用」という演題で講演をしていただいた。岐阜市図書館主任会で作られた図書館の利用の仕方が分かるプレゼンテーションの紹介をしていただいた。学年ごとに作られており、子どもが図書を利用した学習に意欲的に取り組める内容で、大変参考になった。

☆各種コンクール

- (1) 図書館だよりコンクール(高等学校のみ)
- (2) 読書感想文コンクール（小学校、中学校、高等学校、在学勤労青少年）
- (3) 読書感想画コンクール（小学校、中学校、高等学校）
- (4) 図書館利用作文コンクール（小学校、中学校）
- (5) 読書ゆうびんコンテスト（小学校、中学校、高等学校、一般）

それぞれに多数の参加があり、すばらしい作品が集まった。今後もこうした事業を通して、読書活動がますます豊かに発展することを願っている。

（岐阜県学校図書館協議会事務局）

坂祝町

小さな町に住みながら心豊かで快適な生活を —みのかも市・さかほぎ町定住自立圏形成協定にもとづく図書システム—



坂祝町中央公民館図書室

坂祝町は岐阜県の中南部に位置し、美濃加茂市と隣接する人口8,500人ほどの小さな町です。中央公民館の一角が図書室になっていて、以前は年間貸し出し数が9,000冊余で背の高いスチール製の書架が並んだ書庫のような図書室でした。2年前に国や県の補助金等を使って小中学校と連携した電算システムを導入することができました。それによって町内で保有する蔵書のデータが一元化され、飛躍的に便利になりました。また図書室の書架の配置を変えたり、木製で背の低い書架にすることで子どもや高齢者に優しい温かい図書室になり、貸し出し数も14,000冊と一気に1.5倍となりました。

美濃加茂市と坂祝町は生活圏がほぼ同じで、坂祝町から美濃加茂市の中央図書館までは車で数分の距離にあるため、3,800人の坂祝町民が美濃加茂市立図書館で年間13,000冊の本を借りている状況でした。

こんな中一昨年、美濃加茂市と定住自立圏形成協定が結ばれ、今年の4月より美濃加茂市の図書館と坂祝町の図書室が同一システムで結ばれることになりました。

下のイラストで示しましたように、インターネットにより両市町の合わせて25万冊の蔵書検索と予約が可能になり、個人貸し出しカードも共通となります。また多くの蔵書から本を選ぶことができるようになり、貸出返却もとても便利になります。町としてもシステムのメンテナンス代やマーク代など経費が安くなります。また県図書館との相互貸借においても週一回の配送に乗せることが出来るようになり通信費が削減できることとなります。

そのほか近隣の図書館となかなか交流する機会が少ない単独の小さな図書室が、大きな図書館とシステムを連携することにより研修できる機会も増え、他館との相互貸借も可能になり、広くレファレンス対応が出来るようになることに期待をしています。

以上のように、より快適でより幸福な暮らしの実現のために必要な地域資源を最大限に有効活用し、その価値を高めながら、連携することで、定住化の推進と域内に住む一人ひとりが住んでよかったと実感できるために、図書館機能を高めることで住民の満足を得られるようにしていきたいと思えます。

坂祝町図書室の蔵書(2万冊)と美濃加茂市図書館の蔵書(23万冊)を検索できます。

家庭のインターネットや携帯電話で検索でき、貸し出し中の本については予約も出来ます。

読書講演会・研修会・読み聞かせ活動を連携しながら合同で開催することができます。

それぞれの市町の貸出カードですべての館の貸し出しが可能になります。

近くの館での返却が可能になります。

